

令和8年7月21日付け新たな組織体制と人事配置について

県政を取り巻く社会経済情勢は大きく変化しており、行政課題も多様化・複雑化している。このような中、県政全体の判断力と実行力を高め、変化する課題に的確かつ迅速に対応できる体制の構築が求められている。また、令和14年度開催予定の国民スポーツ大会・全国パラスポーツ大会は、本県のスポーツ振興を大きく前進させる重要な機会であり、競技力の向上や子どもたちのスポーツ活動機会の拡充に加え、大会を契機とした持続的なレガシーの創出につなげていくことが期待されている。

こうした県政課題への対応と将来を見据えた施策の推進を図るため、「政策データ分析センター」の設置と国スポ・全スポ推進体制の再編を実施し、本日付けで新たな統括官の配置を含む人事異動を行った。

1. 政策立案支援機能の高度化（政策データ分析センターの設置）

人口構造の変化や物価高騰、国際情勢に伴うエネルギー問題など、社会経済情勢が急速に変化する中、県内経済や県民生活への影響を的確に把握し、エビデンスに基づく政策判断をより迅速に行うことがこれまで以上に重要である。

こうした状況に対応するため、政策判断に必要な情報・状況・課題を全庁的に共有・分析し、横断的な政策立案を推進する拠点として、高度政策推進局に「政策データ分析センター」を設置する。

同センターでは、AI活用の先導役として、庁内外から収集したデータを分野横断的かつ中長期的な視点で分析し、有機的に活用することで政策立案の質を高める。また、政策立案支援を着実に推進するため、新たに「政策調査企画統括官」を設置し、部局横断的な調整能力と豊富な行政経験を有する職員を起用することで、政策判断に必要な情報を迅速かつ的確に集約できる体制を整備する。

センターの体制は19名（兼職12名を含む）とし、県政全体の判断力と実行力を高める司令塔として機能させる。

2 国スポ・全スポの開催に備えた体制の拡充（推進体制の再編）

国民スポーツ大会・全国パラスポーツ大会の開催は、本県のスポーツ振興を大き

く前進させる重要な機会である。大会の成功はもとより、競技力の向上や子どもたちのスポーツ活動機会の拡充、そして将来にわたるレガシーの創出につなげていくため、競技団体との連携、競技施設の整備、受入環境の充実などの幅広い取り組みを一体的に推進する必要がある。

このため、大会準備と大会後を見据えたスポーツ振興を切れ目なく推進できる体制へと再編し、関係機関との連携強化と機動的な事業執行が可能となる組織体制を整備する。

また、選手・指導者の育成や子どもたちのスポーツ環境の充実を図る上では、学校教育との連携が不可欠であることから、教育行政の知見を最大限活かすため、スポーツ統括官に教育次長を充てる。これにより、スポーツ行政と教育行政の連携を一層強化し、将来を担う人材の育成と本県スポーツの持続的な発展につなげていく。

＜再編後の体制（１課１室→３グループ）＞

- ・スポーツ振興グループ
- ・国スポ・全スポレガシー創出・競技力向上推進グループ
- ・国スポ・全スポ施設整備グループ

3 適材適所による人員配置

今回の組織体制の見直しに伴う人事配置については、職員の能力や経験を総合的に評価し、適材適所及び現行業務の円滑な継続の観点から、それぞれの強みや専門性を最大限発揮できる人員配置とした。

政策データ分析センターには、データ及び情報の収集・分析機能の強化に必要な職員を配置するとともに、スポーツ分野では、国スポ・全スポの開催準備やスポーツ振興に関する業務を円滑に進めるための職員配置を行った。

＜新設された主な職（所属長以上）への配置＞

- 政策データ分析監（事務取扱） ← 高度政策推進局次長
- 競技力向上推進監（事務取扱） ← 観光文化・スポーツ部次長
- スポーツ振興監 ← スポーツ振興課長
- スポーツ施設整備監 ← 国スポ・全スポ大会準備室長